

# 千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌  
創刊号

発行日：2006年10月1日  
発行：富山県立大学同窓会 会長 荒木 甫／副会長 高田 満  
編集：千瓢編集部〔編集長 池上 効〕  
住所：〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内  
電話：0766-56-7500 FAX: 0766-56-0396  
メール: senpyokai@pu-toyama.ac.jp  
URL: http://senpyokai.pu-toyama.ac.jp/

新たに生まれ変わりました!!

## 千瓢会と富山県立大学工学部同窓会が合併

### 富山県立大学同窓会船出

平成17年11月13日（日）ホテルアクリア黒部（黒部市天神新）で千瓢会と富山県立大学工学部同窓会のそれぞれの総会が開かれた。それぞれの総会で千瓢会と富山県立大学工学部同窓会の合併が決まり富山県立大学同窓会が誕生した。

同会場で「富山県立大学同窓会」の設立総会が開かれ、会則、役員選出、事業計画、予算を審議して原案どおり承認された。会長には千瓢会の荒木甫氏、副会長には富山県立大学工学部同窓会の高田満氏が選ばれた。事業計画としては来年度平成18年度の総会を高岡地区が主管で行うことが決まり、同窓会誌『千瓢』の発行を決めた。

同窓会の合併が決まり、合同の役員会を開催して、これから同窓会の進む道の検討が始まっている。

平成18年度の総会は、千瓢会の各ブロック持ち回り方式の最後の、高岡・氷見ブロック地区が担当して行うことが総会で決まり実行委員会が発足して準備が進んでいる。このブロック方式は県内を6ブロックに分けてそのブロックが責任を持って開催する方式で、平成13年の上婦負ブロックで始まり、今回の高岡地区で一回りする。

千瓢会では平成13年以前の総会は卒業年度ごとの持ち回り方式で、それが一段落したので平成13年度より千瓢会総会の開催を県内各ブロック誘致開催方式に変更した。この方式は同窓会と会員の距離を縮め、地域の会員相互の親睦を深め、総会をやり遂げることにより会員意識の高まり、それと千瓢会の地域ブロック支部制への起爆剤にならないかとの思いでスタートした。（次ページへ続く・・・）



新しい同窓会で挨拶する高田満副会長

### Index

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

- 1~3 合併までの経緯、学長・学生部長の挨拶  
せんぴょうノート
- 4 同窓会長・同窓会副会長の挨拶  
はてなクイズ
- 5 中畠清氏の公開記念講演、短信
- 6~7 同窓会年表、役員名簿
- 8~9 研究室紹介

- 10 千瓢会総会顛末記、コーヒーブレイク
- 11 同窓会総会スナップ
- 12 私の好きなこと
- 13 ゴルフコンペ、大学ニュース、集まってま～す
- 14 同窓会日誌
- 15 《特集》私たちが編集しました、この数字をご存知ですか？
- 16 同窓会からのお知らせ、編集後記

平成13年の総会は上婦負ブロックの担当で杵山明さん（1976年農学科卒）が実行委員長。テーマは環境問題で元朝日新聞記者の江森陽弘氏の「これからの地球を考える」と題した公開講演会（婦中町ふれあい館）を開いた。平成14年度は小矢部・砺波ブロックの担当で、竹林伸高さん（1970年機械科卒）が実行委員長。万葉集研究家中西進氏の「大伴家持と越中」と題した公開講演（ニチマ俱楽部）は多くの方に感銘をあたえた。平成15年度は新湊・射水ブロックの担当で岩脇喬さん（1968年農業機械科卒）が実行委員長。会場は小杉の富山県立大学でひらいた。記念講演は当大学の客員教授でもあるインテックの中尾哲雄氏にお願いして「先輩に学ぶ」と題して富山県ゆかりの先人の業績を熱く語っていただいた。平成16年度は富山ブロックの担当で、岡田滋さん（1987

## 同窓会誌「千瓢」の創刊をお祝い申し上げます。

富山県立大学学長 中島 恭一

富山県立大学は開設して16年を経過しましたが、前身の大谷技術短期大学が開学した昭和37年から数えると44年の歴史を有しています。富山県立大学同窓会は昨年工学部と短期大学部の同窓会が合併して再出発しましたが、技術短大時代からの卒業生による交流の場として大きく発展しています。大学にとつても頼れる心強い応援団として期待していますし、同窓会のみなさんも大学を大いに活用していただきたいと思います。

少子化で人口減時代に入り、日本の大学は競争と個性化の時代を迎えており、富山県立大学も時代の変化に対応して改革を進めています。今年4月には大幅な学科改編を行い、「自然環境や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点に特色と魅力のある教育研究に努めています。今後とも大学の活動にご理解、ご協力とともに、厳しいご意見もいただければ幸いです。

「千瓢」が同窓会員の交流の場として、また大学と卒業生のみなさんをつなぐ架け橋として発展することを期待して、ごあいさつとします。



年衛生工学科卒）が実行委員長。テーマは健康で富山医科大学教授の鏡森定信氏の「温泉・睡眠 そして健康」と題した公開講演会（富山電気ビル）を開いた。去年の平成17年度は新川ブロックの担当で前田喜芳さん（1968年農業機械科卒）が実行委員長。記念講演はあのプロ野球評論家中畠清氏で、「話しも舌口調」と題してホテルアクア黒部に集まった聴衆を魅了した。懇親会は今までの最高の参加者で熱氣があふれていた。

同窓会誌『千瓢』の創刊号が千瓢会の機関誌『千瓢会だより』のスタッフと工学部の機関誌『飛翔』のスタッフにより編集にかかっている。

『千瓢会だより』は千瓢会の機関誌として平成4年10月1日創刊され、平成17年10月1日の14号が最終号になりました。『飛翔』（創刊号は『TPUだより』で2号から『飛翔』）は工学部同窓会機関誌として平成7年3月24日創刊され平成17年10月1日の12号が最終号になりました。

## 合併おめでとうございます。

富山県立大学学生部長 奥田 実

千瓢会と工学部同窓会の正式合併おめでとうございます。以前から本格的な合体に向け準備を進めてこられた役員並びに関係者の方々に、心から敬意を表します。交際していた二人が結婚に至るようで、これまで見守ってきた私としては大変嬉しい出来事です。



なにぶん、工学部の卒業生は年齢も若く、千瓢会の先輩方々から見ればもの足りない点が多くあります。しかし末永くよろしくお願いします。

工学部と短大部からなる県立大学が創設されてから17年目。その間両学部の卒業生のカップルもたくさん誕生しました。さらには彼らのDNAを引き継ぐ子どもたちも生産されています。新しい同窓会も、まずはより一層親睦を深め、その結果として、県立大学及び富山県にとって意義ある新たな成果を生み出されんことを期待しています。

シンク シンカ  
— THINK から SINKA 進化へ —  
We love Toyama. 社会資本整備のアタッチメントプロを目指して

**株式会社 新日本コンサルタント**

http://www.shinnihon-cst.co.jp E-mail: info@shinnihon-cst.co.jp

営業品目

設計コンサルタント  
都市・地域計画・調査・解析  
デジタル台帳・GIS、3Dソリューション  
一般測量・補償コンサルタント  
建築設計・管理

代表取締役 会長 市森 武  
代表取締役 社長 市森 友明  
本社 / 〒930-0142 富山市吉作910番地の1  
TEL 076-436-2111 FAX 076-436-3050  
営業所 / 小矢部事業所 新川事業所 射水事業所  
南砺事業所 高岡事業所 大阪事業所



水門・橋梁・河川水消雪・ポンプ設備  
ミニ発電設備・バイオ関連事業・設計・製作・施工  
**水機工業株式会社**

代表取締役 野村 幸三

〒932-0807 富山県小矢部市柳原748  
TEL (0766)67-2858  
FAX (0766)67-2811

## 合併へのみちのり

千瓢会と富山県立大学工学部同窓会の合併の話は3、4年前に工学部同窓会より話があり各責任者間で話し合われてきて、今回の合同の設立総会にこぎつけた。

ちょっと合併までのみちのりをしらべてみると、富山県立大学短期大学部の卒業生が出たときに、工学部と短期大学部に呼びかけて千瓢会への入会をお願いしたが、短期大学部の卒業生は千瓢会へ入り一緒に活動することになった。工学部はその時点ではまだ卒業生が出ていなかったので、その時点ではもう2年間考えましょうということになった。その2年後に工学部の卒業生が出たときに工学部に対して千瓢会から正式に合同の同窓会の話しがおきた時に、工学部は独立して独自の同窓会を立ち上げるということになり、ここに千瓢会（富山県立大谷技術短期大学・富山県立技術短期大学・富山県立大学短期大学部の同窓会）と富山大学工学部同窓会の2つの同窓会が誕生した。2つの同窓会は接触を持たずに各々が独自に活動を続けた。その間、工学部の同窓会は活動を支えていた人が転勤で富山を離れる等の問題が起き、じっくりと同窓会活動に取り組めない状態が続いた。そこで千瓢会との合併が模索された。千瓢会にとっても短大部の卒業生の減少という問題を抱えていて会員数の確保の面からも合併に前向きに取り組み、今回の合併にこぎつけた。

## これから課題

今回の合併で、決まったことは合同の総会を開くということと、機関誌「千瓢会だより」（千瓢会機関誌）と「飛翔」（工学部同窓会機関誌）を合併して「千瓢」を発行することだけです。会計の一本化はまだですし、一番の問題点は2つの同窓会が合併してどのような方向でどのような活動をするかだと思います。今、役員会等で話し合われていますが、それが深められて魅力的な活動が待たれる。

せんぴょうノート

## 千瓢

(せんぴょう)



昭和38年当時の写真で、扁額「千瓢」が掲げられている茶室

富山県立大谷技術短期大学（富山県立大学の前身）が昭和37年に開学。翌年、茶人の佐藤工業の佐藤助九郎（助庵）さんより茶室と礼法室を兼ねた建物が寄付され、太閤山にちなんで（太閤秀吉の馬印の千成瓢箪から）千瓢と命名。昭和38年9月に富山県立大谷技術短期大学茶華道部が誕生する。富山県立大学同窓会の機関誌『千瓢』は、この千瓢よりきている。

建設コンサルタント・補償コンサルタント  
調査・測量・計画・換地・補償・監理

### 朝日コンサルタンツ株式会社

代表取締役 森永晃  
(農林土木科 第1回卒)

本社 〒935-0023 氷見市朝日丘6-48  
TEL(0766)74-0774(代) FAX(0766)74-0894

### 地球環境と豊かな自然をまもりたい

- 上・下水道設備
- 農集排・コンポスト・メタン発酵設備
- 風力発電・各種資源リサイクル設備
- 揚・排水機器設備
- 汚泥溶融炉・コーチェネ設備
- 空調・衛生設備

EbaAsho (株) 荘原製作所代理店

### 莊原商事株式会社

富山支店 支店長 秋山浩  
富山市桜橋通り1-18 (住友生命ビル3F)  
TEL 076(442)0181(代) FAX 076(441)1286

美しい自然、快適な地球を目指して

- 環境アセスメント・土壤調査・菌試験・温泉・水道水分析
- 環境調査・水質・大気調査、生物、プランクトン調査

### 株式会社 安全性研究センター

代表取締役 守崎昌彦  
〒930-0809 富山市興人町2番62号  
TEL 076-431-6810 FAX 076-431-2809  
在籍卒業生 9名

多木×肥料

芝生と肥料と農薬

### (株)岡本清右衛門商店

TEL 0766-24-0230  
FAX 0766-24-1197

## 新しい酒を新しい器に・・・

### 富山県立大学同窓会会长 荒木 甫

会員の皆様方には、それぞれの地域で、それぞれの分野で、それぞれの立場でお元気にご活躍のことと存じます。

昨年の合同総会で産声をあげた私達の県立大学同窓会も、早いものでもう満1才の誕生日を迎えることとなりました。おかげさまで元気かつ順調に生育をしていると申し上げてよろしいかと思います。その生育過程の一つが今皆様がご覧になっている機関紙「千瓢」で、短期大学部の「千瓢会だより」と工学部の「飛翔」とが一つになって新しく誕生を致しました。中身も双方の機関紙の特長を織り交ぜた親しみの持てるものになつてはいると自負致しております。

この「千瓢」は一つの例に過ぎませんが、全ての活動を通して、大学の力になれる同窓会…会員と共に歩める同窓会…地域に貢献出来る同窓会…学生に慕われる同窓会…にするために同窓会という器を、より大きく、より強固なものにしていかなければなりません。会員の皆様のご支援をよろしくお願ひ致します。



## ごあいさつ

### 富山県立大学同窓会副会長 高田 満

同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。当初、別々の同窓会としてスタートしましたが、この度、短大部と工学部の同窓会が、ひとつになり初の会報発行となりました。私は、我々は別々ではなく、同じ同窓生であるとずっと考えておりました。短大の先輩方とは、世代が

異なり同時期に同じキャンパスで過ごしておらずとも、同じ学校の出身であるということは、雰囲気と申しますか、考え方と申しますか、共通するものがあると感じています。荒木会長や短大部の大先輩とは、出会ってからすぐに意気投合できました。人生の最も豊かで濃い時間を過ごした場所が同じ学校であるということは、世代が異なっても大きな共通点であり、同じ輪の仲間であると思います。繰り返しになりますが、我々は別々の存在ではなく、同じ学校で学んだ、同窓生、仲間なのです。私は、これまで千瓢会が歩んできた歴史は我々自身の歴史でもあると思っておりますし、千瓢会のカラーはそのまま我々のカラーだと考えております。

短大部出身と工学部出身で結婚した方々が大勢おら

れますし、親が短大部出身で、子が工学部出身のケースもあります。しかしながら、同窓会が異なるため、短大と工学部で、卒業後、同じキャンパスで学んだ者同士の交流がありませんでした。私自身、一緒に過ごした短大部の友人とは会う機会も連絡先も知らず、今日に至っております。先日も職場や近所に短大の同窓生の方がおられることを知りました。皆様はどうでしょうか。社会に出てから同窓生に合う機会は減りますが、同窓生の活躍は常に刺激となり、励みとなり、心強い味方になることだと思います。私は海外に赴任している同窓生からの便りや、彼らの海外から日本をみた感じ方や捉え方は、良い刺激になりました。会社でも同窓生の先輩は心強い存在となっております。

同窓会としてはよいことばかりではなく、今後乗り越えていかねばならない様々な問題があります。その一つが会費の問題であり、当初、工学部同窓会では1回会費を納入すれば、今後納入することはない、ということでしたが、規模が大きくなるに従い経費がかさみ、立ち行かなくなつてしましました。また、事務手続きも工学部役員のみで実施しておりましたが、それぞれ仕事や家庭の都合で、うまく実施できないことが多々あり、同窓会としての活動が十分にできず、皆様にご迷惑をおかけしていると思います。工学部役員のみでは解決が困難であり、経験豊富な先輩方にご助言を頂き、力を借りることで、解決を図ることが可能であると考えております（工学部同窓会としての問題点はそのまま千瓢会が克服してきた問題です）。

最後になりますが、富山県立大学の同窓会をひとつにできたことは大きな悦びです。皆様と共に同窓生の輪を大きく広げ、益々同窓会を盛り上げていきましょう。皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



富山県立大学の前身、富山県立大谷技術短期大学の開学は年ですか。  
西暦○○○○年。

(ヒント・今号の15ページを見てください。)

◆はがきで〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内 千瓢編集部へ答えと住所・氏名を書いて応募ください。正解者10名に図書カード(500円)を進呈! 正解者多数の場合は抽選。締め切りは11月15日(当日消印有効)。はがきに「千瓢」の感想も一緒に書いて下さい。メールでの応募もOKです。

「千瓢会だより」最終号クイズ当選者発表!!

最終号クイズ: 富山市の千瓢会の会員数は何名ですか?

答えは 1,353名です。  
正解者は、射水市の位寄史好さん、竹内祐子さん、富山市の早川俊一さんの3名です。  
おめでとうございます。



## 中畠清氏の公開記念講演 話しも舌口調

平成17年11月13日（ホテルアクア黒部）

私は駒澤大学同窓会の東京支部の代表をしていますが、同窓会運営のむつかしさは身にしみています。今回、富山県立大学工学部同窓会と短期大学部同窓会（千瓢会）合併の記念講演に呼ばれて、多くの人が集まるお手伝いができれば光栄です。同窓会は仲間意識、母校愛の集まりで、やる気、元気をあたえてくれるとおもう。

私にとってスーパースターは長嶋茂雄です。人間性が備わっていて、あこがれであり、自分の今までの51年があると思う。

野球選手にとって練習はつらいものです、つらいその練習、目標を決めてがんばる、それが必要だと思います。目的意識を持っていると元気になれます。

長嶋茂雄の魅力は存在感のあるあかるい性格、近くになるほどその魅力が増します。まわりの人に対する気遣い、そして決してひとの悪口をいわない。野球では「きたボールを打つ」という簡単な気持ち、それが大舞台での活躍やプレッシャーをものともしない打撃につながると思う。

巨人の監督に原が決まりましたが、私は是が非でも『監督になりたかった』それで今年の10月と11月の予定を全部あけていたが、原監督が決まり、今頃は自分が宮崎キャンプに参加していたはずだが、今日ここで話しているのは、がっかりしています。

自分はドラフト3位入団、原選手は1位入団で鳴り物入りの入団。野球選手の世界は縦社会で先輩後輩の世界です。5年下の原選手が監督になり自分がなれないのは残念ですがこれからも、自分は「監督になりたい」といい続けます。

巨人の3人の選手をとりあげて、3人の生き方を考えて見ます。長嶋一茂、元木大介、松井秀喜の3人です。長嶋一茂は選手として成功はしなかった。あまりにも恵まれた環境で、ハングリー精神にかけていた面がある。だが役者としては多くの経験をつみ成長している。

元木大介は今年ユニフォームをぬいたが、素質としては恵まれなかつが、相手が嫌がることをして曲者振りを發揮して自分を主張した。こんな生き方もある。

松井秀喜は自分がバッティングコーチとして、一年目に入団してきた選手だが、素質のすごさには目を見張るものがあり、入団時の「将来、子どもたちから、あこがれになるような選手になります。」といいきつたところは現在の松井を思わせる。スランプになっても一生懸命にがんばる姿を見て感動した。

3人3様の生き方だが、野球のキャッチボールの精神が大事だと思います。キャッチボールは一人ではできません、相手を考えてやらなければできません。これからはキャッチボール精神で相手のことを考えながら生きてください。

以上で講演は終わり。中畠清さんの人生に対する応援歌『エール』の熱唱があり、最後に質疑応答で幕を閉じた。



98.7%

『サンデー毎日』の2006年9月10日号を見ていると「全入時代に生き残る大学ランキング」で富山県立大学が大学「就職率」ランキング98.7%で2位にランクインされていた。1位は豊田工業大学の100%。同誌によると『トップの豊田工業大、2位の富山県立大などは、いずれも工学部だけの単科大学である。さらに、ランキングには薬科大も多い。なぜ、これらの大学が多いのだろうか。「学生数が少ない上に、理系は文系に比べて授業が厳しく、大学の出席率が高いために、学生への就職指導がしやすい。」と、大学関係者は話す。』とコメントされている。同誌の「就職に力を入れている大学」ランキングでも同率16位にランクインされています。いずれにしても就職に強い大学として認められているようですね。



### 北建コンサル株式会社

一級建築事務所

測量・調査・設計・補償

代表取締役社長 鷲北義弘

富山県高岡市内免3丁目3-6 ☎ 933-0941

TEL(0766)23-3666(代) FAX(0766)23-3987

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役会長 東原 寛

代表取締役社長 齊藤 紀男

本社 ☎ 933-0014 富山県高岡市野村284-1  
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697



総合建設コンサルタント

株式会社 協和

代表取締役社長 藪内克義

本社 富山県高岡市北島1406

TEL 0766-22-2100 / FAX 0766-22-7602

富山支店 / 氷見支店 / 射水支店 / 南砺支店 / 新川支店 / 関西出張所



未来の自然を考える

株式会社 国土開発センター

測量・調査・設計・総合コンサルタント

代表取締役社長 新家久司

取締役富山支店長 鹿熊利秋

本社 ☎ 920-0031 石川県金沢市広岡3丁目1番1号(金沢パークビル11F)

TEL(076)233-5333

富山支店 ☎ 939-8213 富山県富山市黒瀬13番地3 TEL(076)420-9800

# 同窓会年表

昭和35年／吉田県知事が大谷米太郎さん大学の構想を話し約2億円寄付の内諾を得る  
 昭和36年／6月1日／小杉町より学校敷地として2万坪の寄付申し出  
 昭和37年／1月20日／富山県立大谷技術短期大学設置許可（機械科、農業機械科、応用数学科）  
 昭和37年／4月1日／本学開学、初代学長に谷安正、初代事務局長に小原敏一就任  
 昭和38年／4月1日／衛生工学科、草農業科開設  
 昭和39年／3月25日／第1回卒業式挙行（卒業生3学科85名）  
 昭和39年／3月25日／同窓会創立、吉田定男初代会長に選出される  
 昭和39年／11月3日／同窓会総会 会員名簿発刊（B5判、10頁）  
 昭和40年／11月3日／同窓会総会（機械科製図室）会員名簿発刊（A5判、17頁）  
 昭和41年／11月3日／同窓会総会（機械科製図室）会員名簿発刊（A5判、24頁）  
 昭和42年／11月5日／同窓会総会（農業機械科製図室）  
 昭和43年／11月3日／同窓会総会（農業機械科製図室）会員名簿発刊（B5判、30頁）  
 昭和44年／11月3日／同窓会総会（農業機械科製図室）  
 昭和45年／11月3日／同窓会総会（学生会館）会員名簿発刊（A5判、44頁）  
 昭和46年／11月1日／開学10周年記念式典挙行  
 昭和46年／11月1日／同窓会開学10周年事業に協力（記念誌等に42年万1千円）  
 昭和46年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和47年／4月1日／富山県立大谷技術短期大学を富山県立技術短期大学に名称変更  
 昭和47年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和48年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和49年／4月5日／2代目学長に工学博士西田正孝就任  
 昭和49年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和50年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和51年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和52年／10月15日／同窓会会員名簿発刊（A5判、110頁）  
 昭和52年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和53年／3月6日／学長選挙実施、農学博士田村三郎を選出。  
 昭和53年／10月12日／3代目学長に農学博士田村三郎発令。  
 昭和53年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和54年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和55年／11月3日／同窓会総会（学生会館）。会計年度を10月1日から翌年9月30日までにする。  
 昭和56年／11月2日／開学20周年記念式典挙行  
 昭和56年／11月2日／同窓会開学20周年記念事業協力（中庭整備）  
 昭和56年／11月3日／同窓会総会（学生会館）役員改選で副会長を7人にする。  
 昭和56年／11月25日／同窓会会員名簿発刊（A5判、142頁）  
 昭和57年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和58年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和59年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和60年／11月3日／同窓会総会（学生会館）  
 昭和60年／11月20日／県機関に勤務する卒業生と教職員との第1回懇談会（県民会館）  
 昭和61年／11月30日／同窓会総会並びに第2回教職員との懇談会（婦人会館）  
 昭和62年／11月29日／同窓会総会並びに第3回教職員との懇談会（婦人会館）  
 昭和63年／11月27日／同窓会総会並びに第4回教職員との懇談会（婦人会館）田村学長講演「中国黄土高原に縁を」

平成1年／11月18日／同窓会総会並びに第5回教職員との懇談会（婦人会館）記念講演「仕事と家庭ともう一つの私」（労働省富山婦人少年室長植田淑子氏）  
 平成2年／4月1日／富山県立大学開学、初代学長に工学博士藤井澄二就任。  
 平成3年／同窓会総会で  
 平成4年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」創刊号発行  
 平成4年／11月1日／千瓢会総会（富山県立大学）  
 平成5年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」2号発行  
 平成5年／11月7日／千瓢会総会（富山県立大学）  
 平成6年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」3号発行  
 平成6年／11月12日／千瓢会総会（富山県立大学）記念講演「ユネスコって何？」（富山ユネスコ協会事務局長池上勁）  
 2代目千瓢会会长に荒木甫就任。  
 平成6年／11月12日／富山県立大学工学部同窓会設立総会（富山県立大学）初代同窓会会长辻井泰孝選任  
 平成7年／3月24日／富山県立大学工学部機関誌「TPUだより」創刊号創刊。  
 平成7年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」4号発行  
 平成7年／11月19日／千瓢会総会（富山県民会館）1960年代卒業生の集い  
 平成7年／11月11日／工学部同窓会総会  
 平成8年／3月25日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」2号発行（改題）  
 平成8年／10月15日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」5号発行  
 平成8年／10月22日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」3号発行  
 平成8年／11月9日／工学部同窓会総会（富山県立大学）第2代会長に佐原厚生就任  
 平成8年／11月17日／千瓢会総会（富山県職員会館）1970年代前半卒業生の集い  
 平成9年／4月1日／2代学長に川端昭就任  
 平成9年／6月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」4号発行  
 平成9年／7月5日／工学部同窓会総会（富山県立大学）  
 平成9年／10月15日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」6号発行  
 平成9年／11月16日／千瓢会総会（富山県職員会館）1970年代後半卒業生の集い、特別企画『映画「草刈り十字軍」の舞台裏』（足立原貴教授）  
 平成10年／6月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」5号発行  
 平成10年／7月4日／工学部同窓会総会（富山県立大学）  
 平成10年／10月22日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」7号発行  
 平成10年／11月22日／千瓢会総会（富山県職員会館）1980年代前半卒業生の集い、記念講演「企業と地域の今を考える」（いきいき地ビール社長北越まち子氏）  
 平成11年／6月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」6号発行  
 平成11年／7月3日／工学部同窓会総会（富山県立大学）  
 平成11年／10月15日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」8号発行  
 平成11年／11月14日／千瓢会総会（富山全日空ホテル）1985年から1991年卒業生の集い  
 平成12年／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」7号発行  
 平成12年／9月15日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」9号発行  
 平成12年／工学部同窓会総会  
 平成12年／11月19日／千瓢会総会（富山第一ホテル）開学10周年特別企画「赤坂泰彦ライブ」  
 平成13年／3月1日／第3代学長に工学博士中島恭一就任  
 平成13年／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」8号発行  
 平成13年／9月25日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」10号発行  
 平成13年／10月27日／工学部同窓会総会、第3代会長高田満就任

# 千瓢

平成13年／11月10日／千瓢会総会（婦中ふれあい館）上婦負ブロック担当（柞山明実行委員長）記念講演「これからの地球を考える」（元朝日新聞記者江森陽弘）

平成14年／10月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」9号発行

平成14年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」11号発行

平成14年／11月2日／工学部同窓会総会（富山県立大学）

平成14年／11月17日／千瓢会総会（二チマ俱楽部）小矢部・砺波ブロック担当（竹林伸高実行委員長）記念講演「大伴家持と越中」（万葉学者中西進）

平成15年／10月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」10号発行

平成15年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」12号発行

平成15年／11月2日／工学部同窓会総会（富山県立大学）

平成15年／11月16日／千瓢会総会（富山県立大学）新湊・射水ブロック担当（岩脇喬実行委員長）記念講演「先輩に学ぶ—われわれが失ったものー」（インテック社長中尾哲雄）

平成16年／10月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」11号発行

平成16年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」13号発行

平成16年／10月30日／工学部同窓会総会（富山県立大学）

平成16年／10月30日／工学部同窓会10周年記念パーティ（とやま自遊館）

平成16年／11月13日／千瓢会総会（富山電気ビル）富山ブロック担当（岡田滋実行委員長）記念講演「温泉・睡眠 そして健康」（富山医科大学教授鏡森定信）

平成17年／10月1日／富山県立大学工学部機関誌「飛翔」12号発行

平成17年／10月1日／千瓢会機関誌「千瓢会だより」14号発行

平成17年／11月13日／工学部同窓会総会（ホテルアクラ黒部）

平成17年／11月13日／千瓢会総会（ホテルアクラ黒部）新川ブロック担当（前田喜芳実行委員長）

平成17年／11月13日／富山県立大学同窓会設立総会（ホテルアクラ黒部）

平成17年／11月13日／記念講演プロ野球解説者中畠清  
「話しも舌口調」



## ◆富山県立大学同窓会役員名簿◆

名 誉 会 長	中 島 恭 一	(学長)
顧 問	川 端 昭	(元学長)
	田 中 潔	(工学部長)
	安 田 郁 子	(短期大学部長)
	奥 田 実	(学生部長)
	齊 藤 俊 明	(事務局長)
	吉 田 定 男	(初代短期大学同窓会会长)
	辻 井 泰 孝	(初代工学部同窓会会长)
会 長	荒 木 甫	(衛工 1965)
副 会 長	高 田 満	(修電 1997)
理 事	池 上 劲	(機械 1964)
	高 長 紀 子	(応数 1965)
	岡 田 滋	(衛工 1967)
	坪 本 正 樹	(草農 1967)
	岩 脇 喬	(農機 1968)
	竹 林 伸 高	(機械 1970)
	土 谷 達 郎	(衛工 1973)
	柞 山 明	(草農 1976)
	長 井 弘 仁	(草農 1981)
	西 部 文 康	(農機 1980)
	川 尻 佳 代 子	(農機 1986)
	奥 原 正 樹	(大電 1994)
	佐 原 厚 生	(大電 1995)
	江 幡 勉	(大電 1995)
	浅 井 典 子	(大機 1995)
	田 村 篤 志	(大機 1997)
	鈴 木 清 正	(大機 2001)
	中 山 善 夫	(大機 2003)
	伊 井 稔	(修機 1996)
	河 原 讓	(修機 1996)
	野 口 雄 次	(修機 1998)
	丹 羽 美 和 子	(修電 1998)
	清 水 啓 充	(院機 2006)
監 事	深 沢 広 治	(草農 1971)
	金 崎 拓 馬	(大電 1997)
事 務 局 長	山 口 郁 子	(応数 1978)
事 務 局	館 澄 男	(農機 1964)
	石 坂 圭 吾	(院電 2000)
	今 井 久 志	(大機 2002)
	三 宅 洋 好	(大機 2005)

## 地産地消ってなに？

地元産が一番フレッシュ  
いただきます！富山



理化学器機・産業器機 計測・試験機器

山 本 理 化  
山 本 文 雄

〒930-0887 富山市五福二区5369

TEL: (076)432-1658 FAX: (076)432-1659  
E-mail: yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

NITTOC

## 日特建設株式会社

執行役員北陸支店長 按 田 純 輝 (S46.草農卒)  
営業部長 荒 木 甫 (S40.衛工卒)  
富山営業所長 多 賀 隆 之

北陸支店 〒950-0864 新潟市紫竹5丁目26番1号 TEL 025-241-2234 (代)  
富山営業所 〒930-0916 富山市向新庄町8丁目4番50号 TEL 076-452-2766 (代)



あなたのスポーツみつけよう



特定非営利活動法人  
ふちゅうスポーツクラブ

理事長 株 山 明 (農学科第12回)

TEL 076-466-4333  
<http://www:fuchusports-c.jp>

# 研究室の近況案内

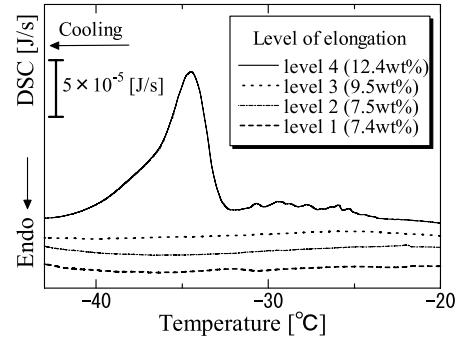
## エコマテリアル工学講座

(旧構造材料工学講座)

教授 川越 誠 講師 真田 和昭

本研究室では高分子系材料の耐久性（長寿命化）をキーワードに微細構造と力学特性との関係について研究しています。例としては、吸収された水分子の結晶化（凍結）挙動から塑性変形した高分子固体のミクロ構造欠陥を推測する研究があります（図）。自己修復材料の開発なども重要なテーマです。

大学院生は7名、卒業研究4年生は8名、ほかに機器オペレータの方など、総勢19名で元気に活動しています。学科の編成替えに伴って学生ほか17名が1部屋にいる状態となり、以前より窮屈ですが、学生間の親密さは一層増したと言えるようです。



DSC 解析による塑性変形したナイロン中の水分の結晶化挙動

## 広瀬研究室

TEL : 0766 - 56 - 7500 (ext.677) FAX : 0766 - 56 - 6084  
<http://www.pu-toyama.ac.jp/AE/hirose/hirose.htm>

短大生2人、専攻生4人のメンバーは、水路、水田、ビオトープの現場で流水とたわむれ、流域水循環システムの摂理を肌身で感じ取っています。授業は測量学、地域水環境工学、地域計画学、技術者倫理を担当しています。現在の研究分野としては近自然水路工法、新しい水田かんがい法、学校ビオトープ計画、地下水涵養技術などがあります。多くのすばらしい研究実績を残された研究室卒業生諸君の来室を待っています。



## 情報メディア工学講座

(中野研究室)

工学部情報システム工学科

近年、光ケーブル等による「次世代インターネット」、動画・音声等による「映像コンテンツ」、コンピュータの利用場所を選ばない「ユビキタス環境」が実現可能となっています。本研究室では、次世代ネットワークを活用した人間に優しいシステム化技術として、これらに関する技術の基礎から応用までを対象として、様々な研究を行っています。(1) ユビキタスシステム技術におけるコンピュータ活用の研究、(2) 高臨場感遠隔コミュニケーションシステムにおける情報通信技術の研究、(3) 映像情報からの特徴・形状・空間環境取得技術、画像の色補正技術や加工技術の研究、(4) 映像データベース検索技術・自動撮影技術の研究。

## 葭田研究室(園芸学研究室)

短期大学部生物資源学科

園芸学研究室は、生物資源学科の耕種部門を主として担当し、研究、教育ならびに地域貢献を日々行っております。現在、研究室に所属するスタッフは、常勤実験補助員3名と本科と専攻科の学生を併せて11名です。主な活動は以下に示しますので、興味のある方は研究室へお問い合わせ下さい。とくに、教育研究では、食農教育と食の安全性と機能性について進めております。

### I. 研究課題

1. スギとヒノキの花粉飛散防止における植物生長調節物質の活用に関する研究(農林水産省委託)
2. 5-アミノブリン酸の生理活性の解明と作物への適用に関する研究(コスモ石油委託)
3. 高腐植入り機能性肥料の開発と作物への適用に関する研究(肥料科学研究所委託)

### II. 地域貢献

1. 富山湾深層水の農業への利活用に関する研究(富山県委託)
2. 立山の黄砂層からの微生物の分離とその有効利用に関する研究(富山県委託)
3. 产学官連携推進会議(総務省・文部科学省)とアグリビジネス創出フェア(農林水産省)などへ出展し、富山県の深層水商品について紹介している(富山県立大学環日本海機能水バイオ研究会協力)



## 機能性食品工学講座

生物工学科

<http://www.pu-toyama.ac.jp/BR/sakaki/>

3名の教官と技官1名、博士研究員1名、大学院生2名、短大生3名、アルバイト3名の小さな研究室ですが、機能性食品や医薬品の開発に向け、食品成分の生理作用メカニズムの解明や医薬品候補化合物の代謝研究に取り組んでいます。今年3月に完成した生物工学科棟のまっさらな実験室で新しい機器類に囲まれ、日夜、研究に励んでおります。動物飼育室も完備し、マウスやラットを用いた動物実験を開始しました。企業との共同研究も活発に行っており、今後の研究成果が楽しみです。食品の研究室ということで、居室にはおいしそうな、あるいは怪しげな食べ物がたくさん置いてあり、研究と称して創作料理を試作することも可能です。新しい研究室で、まだ卒業生を出していませんが、卒業生が頻繁に遊びに来てくれるような、楽しい研究室にしたいと思っています。

平成18年4月に撮影した機能性食品工学講座の全員写真です。うしろの建物は3月に竣工した生物工学科棟で、研究室は3階にあります。



## 知的インターフェース工学講座

知能デザイン工学科

(中村・高野研究室)

<http://www.neu.pu-toyama.ac.jp/>

私たちの研究室は、平成18年4月の改組に伴い発足した知能デザイン工学科の知的インターフェース工学講座に所属しています。教員2名、大学院生(修士)7名、学部生7名の中規模な研究室で、目を使ったパソコン入力装置や顔や虹彩模様による個人認証など、生体情報を利用した人に優しい知的インターフェース技術に関する研究を行っています。その中でも虹彩模様による個人認証に関する研究は、経済産業省の地域新生コンソーシアム研究開発事業に採択され、平成17年度から18年度の2カ年計画で虹彩認証装置の実用化に向けて富山県内企業と研究開発を進めています。研究室の年間行事は、新4年生歓迎会に始まり、ダ・ヴィンチ祭への出展、2泊3日の合宿、研究成果の展示会への出展、学会発表、忘年会、修論・卒論打ち上げ会に加えて不定期な飲み会と盛りだくさんです。研究室発足から毎年恒例となっている合宿では、初日に発表会を行い、その後、夜は飲み会、昼は山登りや魚釣り、テニスなどをして懇親を深めています。ちなみに、昨年は電子情報工学科としては最後のソフトボール大会で優勝しました。



ダ・ヴィンチ祭のあとで記念に写真をとりました。

## 千瓢会総会顛赤記

千瓢会総会、新川ブロックの実行委員長を引き受け、過ごした1年間は中畠清さんの動静を気にかけなければならぬ月日でもあった。

総会の日程の中に外部講師による記念公開講演会があり、その講師にプロ野球解説者の中畠清さんを選んだのだ。中畠さんと私の共通の友人である木島信秋さんにお願いして、中畠さんから承諾をもらったのが17年3月だった。

しかし条件が一つあった。

「来期（18年度）にどこかの球団の監督かコーチを受けることになれば総会日の11月13日頃には秋季キャンプで黒部には行けません。」

実行委員会では「講師 中畠清氏」に対する期待は大きく、リスクはあっても中畠さんで行こうと決めた。新川ブロック開催の実行委員会を立ち上げたのが5月12日、各市町村と工学部からそれぞれ1名ずつ参加してもらい核になってもらった。千瓢会本部の要望は講演会、懇親会には100名以上を集めることのこと。この100人については市町村のOB人数の15%を目標に募ることになったのだが、目玉になる中畠さんの講演を公表すべきかどうか悩ましい事態になってしまった。

巨人軍の不調が本格化し、スポーツ紙は来期監督に原辰徳さんと中畠さんの名前を挙げてきたのだ。中畠さんが巨人軍の監督を受けるのだろうか。委員会の席



今回実行委員長の前田さん（右）より、次回実行委員長 渋田さん（左）へ金の瓢箪の引き継ぎ

上では平静を装っていたものの私自身の心境は穏やかではなかった。黒部にきてほしいし監督にもなってほしい。中畠さんは以前から面識があり、一緒に飲んだこともあるなど、ファンでもあるのだ。原監督で決着し、ホッとしたのも束の間「総会の頃アジア野球選手権大会が東京で開催される。日本テレビと専属契約をしているので日程を調整中」との連絡。一難さってまた一難、である。超有名人を呼ぶとはこんなことなのかとしみじみ思った。

10月25日、「約束どおり黒部に行きます。」と中畠さんの声。中畠さんは来る。講演会、懇親会の出席者は予定数オーバーの140名。

あとは押せ押せムードで、大役は終わった。

（新川ブロック実行委員長 前田 喜芳）



**大門 義弘（だいもん よしひろ）さん**

### ゲーム大賞受賞

富山県立大学電子情報工学科4年生の大門義弘さんが、2005年10月「第7回CESAスクーデントゲーム大賞」で、大賞に輝いた。全国からの応募総数289作のトップ。一般の部門の「第9回CESA GAME AWARDS INDES」でも大賞を獲得して2冠に輝いた。（CESAは社団法人コンピュータエンターテイメント協会）

ゲーム「アミダ・ザ・ソルジャー・オン・ザ・ブリッジ」はあみだくじの要領で、兵士の通路となる橋を渡し、敵側へ自身の兵士を送り込む戦略シミュレーションゲームです。あみだくじの原理に目をつけたシンプルかつ、独創的なアイディアやゲームの完成度、高い戦略性を備えた点が、選考委員会において高く評価された。

大門さんは学生サークルTCC（テクニカルコンピュータクラブ）の一員で、応募締め切りの前日までゲームの直しを入れたり、TCCの仲間の意見を聞いたりして仕上げた。

この受賞によってゲームの商品化や起業の話が舞い込んで、友人と一緒に会社を創る準備をしている。

受賞でTCCにも異変がおき、今年の新入部員が11名増え、クラブ員が18名に増えた。TCC部長の大久保直起（おおくぼ なおき）さんは増えた部員とともに大門さんに續けとがんばっている。



大門義弘さんを中心にTCC部員、左端は部長の大久保直起さん

# 平成17年度同窓会総会スナップ

平成17年度の同窓会総会は11月13日(日)黒部市のホテルアクア黒部で開催された。千瓢会の総会、工学部同窓会の総会、合同の富山県立大学の設立総会と慌しく会議を開き、富山県立大学同窓会が誕生しました。記念公開講演はプロ野球解説者中畠清氏の「話しても舌口調」で多くの聴衆をわかせた。その後、懇親会に移り学長や恩師を交えて、同窓生の方々との歓談の時が過ぎ、恒例の金の瓢箪の引継ぎが、新川ブロックの前田さんから平成18年度担当の高岡・氷見ブロックの渋田さんに行われ、盛会裏に会を終えた。その時のスナップを紹介します。熱気や歓声や語らいが伝わってきませんか。



## (広告掲載企業一覧)

朝日コンサルタント・安全性研究センター・荏原商事・岡本清右衛門商店・協和・建成コンサルタント・国土開発センター・上智・新日本コンサルタント・中部設計・東洋ガスメーター・富山県JAグループ・日特建設・ふちゅうスポーツクラブ・北建コンサル・水機工業・山本理化

登録 ●建設コンサルタント建15-788号 ●測量業第12-624号  
●補償コンサルタント補15-101号 ●一級建築士事務所第3-1232号

営業品目 ●建設コンサルタント ●地上・衛星測量 ●地図データ作成  
●補償コンサルタント ●航空測量 ●システム開発、販売



株式会社 上智

代表取締役 社長 楠 則夫

本社 研波市千代 176-1 TEL(0763)33-2085(代)・FAX(0763)33-2558  
支店 富山・県東部・中四国・香川・近畿・あわじ・南砺・高岡・射水・山口・三重・和歌山・京都  
出張所 小矢部

# 私の好きなこと

石坂 圭吾 (いしさか けいご)  
大学院電子情報工学専攻 2001 年卒業

私の好きなことといえば、今年ワールドカップで世界中が熱狂したサッカーです。サッカーをやり始めたのは中学生からですが、それ以来、仲間と一緒にボールをゴールに運ぶという単純さに惹かれ、サッカーをやり続けています。今ではプレイするだけではなく、少年サッカーのコーチとして子供たちを指導することに手を出していました。サッカーのコーチはいろいろと大変ですが、サッカーをしているときの子供たちの笑顔を見ていると、大変だということを忘れてしまいます。これからも未来の日本代表になってくれることを夢見ながら指導を続けていくつもりです。



もうひとつ私の好きなことといえば研究活動です。現在、富山県立大学の助手として活動しています。自分自身、好きではないとここまでやれなかったと思っています。研究活動を通して、多くの研究者と交流し、貴重な経験をしてきました。今後、これまでの経験を生かし、富山県大の名を国内外に広げることができたらと思い、研究活動を続けていきたいと思っています。

高長 紀子 (たかなが のりこ)  
応用数学科 1965 年卒業

毎日忙しく過ごしている中、あまりにも平凡な生活にも、暖かい周りの皆さんのお陰で、今日あることに感謝している今日このごろです。さて好きな事と考えるに、いろんな漬物を自分で作り、いつも職場やサークル、婦人会活動、近所の仲間、地域での行事の時などに持参し、漬物の話から、健康の話、近況の話と話に華がさき大変楽しく仲間の輪が広がり楽しい思いにいたします。

一般に、大根の酢漬け、キュウリのビール漬け、赤かぶと大根の酢漬け、きのこの辛子漬け、かぶらの色漬け、ウメのかりかり漬け、ウメジュース、しそジュース、夏野菜の浅漬け、夏野菜のぬか漬け、などなどレシピは自分の頭の中、スイカの皮のビール漬けもまたおいしいです。これからも得意の漬物で、友達の輪を広げたいものです。



**株式会社中部設計**

代表取締役 中瀬壽

本社 〒930-0029 富山市本町10番2号  
TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

桝山 明 (ほうさやま あきら)  
農学科 1976 年卒業

何もかも面倒になり「すべての関わりから降りたい」という精神状態になることがある。こんな時は焦らず、どこかに逃げ込むことが大切だが、避難所を間違ったり、タイミングを逸して苦労している人をよく見かける。いや、傍からみれば私も立派にその一人なのだが。

良書にふれて徐々に気持ちを立て直すなどということができない私の处方箋にはいつも「矢沢永吉（随時処方）」と書いてある。キャロル時代から聴いている。イントロで「あのころ」に戻り、声が聞こえるころには「いつか通った人生の分かれ道」に立っている。何曲か聴くうちに、「すべては自分で選んだ道じゃないか」と思えてくる。やがて、少し背筋を伸ばして戻って行く自分がいる。  
I LOVE YOU OK



江幡 勉 (えばた つとむ)  
工学部機械システム工学専攻 1995 年卒業

私の好きなこと その1.

ありきたりですが、食べること。  
別に、高いお店でなくてもちょっとした一品が「あっ、これうまい！」と思える瞬間が好きです。最近では妻がスーパーで買ってきたバニラプリンが以外においしく、何度も買ってもらいました。

私の好きなこと その2.

同好会「ぶりんぶりん」で行く、スキーやバーべキュー。この「ぶりんぶりん」とは県立大学OBやOGで結成している同好会で、年2回のスキーツアーとお盆の時期にバーべキューを楽しんでいます。これは卒業以来毎年恒例となっており、全国にバラバラになった仲間と酒を交わす良い機会となっています。

《近況報告》  
地元の氷見市で家業の水産加工業を営んでいます。なかなか休みは取れないですが、充実した日々を送っています。近くにお寄りの際はぜひ声をかけてください。

TOYOGASmeter

独創のテクノロジーで、新たな可能性に挑戦

**東洋ガスマーター株式会社**

代表取締役社長 水越二郎

本社・工場 〒933-0295 射水市本江 2795  
TEL(0766)86-0531(代)  
七美工場 〒933-0234 射水市海老江七軒 1  
TEL(0766)86-3900(代)

# ゴルフコンペ

平成 17 年 11 月 6 日、総会開催の一週間前に地区対抗ゴルフコンペが小杉カントリーで開催されました。

短大部・工学部の先生を含め 15 名の参加者がありました。ご夫婦での参加や県外からの参加者もおられ楽しい一日でした。尚、参加者は以下の方々で優勝は森田英明さんでした。

## 《ご参加者のみなさん》

葭田隆治先生・古米保先生・岡田敏美先生・荒木甫（射水市・衛工 1965）・紫藤健一（砺波市・草農 1965）・杉村美喜男（富山市・衛工 1966）・杉村洋子（富山市・応数 1966）・坪本正樹（砺波市・草農 1967）・笠倉正司（富山市・衛工 1969）・高嶋重行（富山市・衛工 1969）・土谷達郎（高岡市・衛工 1973）・森田英明（富山市・機械 1978）・長島政成（富山市・草農 1978）・室川順子（三重県・応数 1978）・長井弘仁（高岡市・草農 1981）



## ゴルフコンペ開催 のご案内

今年も下記要項で開催されますので、皆様のご参加お待ちしております。

開催日：平成 18 年 10 月 29 日（日）  
場所：高岡カントリークラブ 万葉コース  
スタート：午前 7 時 33 分  
参加費：5,500 円  
※プレー代(11,520 円)は各自でお願いいたします。

参加申し込みは会場予約の都合もありますので、10 月 10 日までにお願いいたします。

# ア大学ニュース =

## ○新短期大学部長

短期大学部環境システム工学科教授安田郁子先生が短期大学部長になりました。

## ○新任

学科再編もあり 10 名の先生が新しく採用されました。

### ●知能デザイン工学科

教授 中原 達也先生  
助教授 大谷 享先生  
講師 中井 満先生・小柳 健一先生  
助手 松野 隆幸先生・森重 健一先生

### ●情報システム工学科

教授 松本 三千人先生・太田 聰先生  
講師 落合 友四郎先生

### ●生物工学科

助手 濱田 昌弘先生

## ○退職

短期大学部生物資源学科遠藤安昭先生が平成 18 年 3 月 31 日をもって退職されました。

## ○訃報

富山県立技術短期大学（一般教育・先生）西野章蔵さんが平成 18 年 2 月 7 日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

## 集まつてま～す!!

私たちは「ぷりんぷりん」です。



富山県立大学 O B や O G で結成している同好会です。毎年、スキーツアーやお盆の時期にバーベキューを企画して集まっています。全国にバラバラになった仲間と顔を合わせる好い機会です。最近では、メンバーに家族ができて、さらに懐しみが増えてきました。これからもずっと続けていきたいなあと思っています。是非みなさんも一緒にいかがですか？

# 同窓会日誌

2005年9月5日～2006年6月20日

No.5



この日誌は富山県立大学同窓会の山口郁子事務局長の日誌です。同窓会のホームページに載っているものを今回「千瓢」に掲載しました。時々ホームページを見てください。最新の日誌が載っています。

## 《2005年》

### ●9月5日（月）

「千瓢会だより」のトップページの初稿があがってきました。工学部の機関誌と同じと思っているページなので工学部の担当の方へも連絡しチェック中です。文章だけで内容を確認してきたときは違い、ある程度紙面として仕上がりてくるとなかなかいいものです。

### ●9月13日（火）

何とかトップページが仕上がり、工学部の方へも渡すことができました。よかったです。「千瓢会だより」の1ページから13ページまでが仕上がってきいてチェックをしているのですが、FAX原稿なので読みにくく大変です。

### ●9月14日（水）

「千瓢会だより」発送用の宛名シールを印刷しました。正会員は5,764名、特別会員・広告主などは100名ほどです。学科別に印刷をしているのですが、短大部の学科編成もあったのでなかなか細かくなっています。

### ●10月3日（月）

学内の先生方・事務局の方々へ「千瓢会だより」を配りました。在校生向けには、図書館・学内にあるパンフレットなどを入れておくラックなどに置かせてもらいました。たくさんの方々に読んでもらえるとうれしいなあ。

### ●10月6日（木）

「千瓢会だより」最終号を発送しました。県内の方は明日には手元に届くと思います。盛りだくさんで読み応えがあるので、皆さんからの反応が楽しみです。

### ●10月21日（金）

池上編集長のところで、来年の機関誌の構想を聞かせてもらいました。短大部・工学部ともに学科に変化があり、それに伴い変わるものもあります。そういうところを取上げたらどうだろうか？来年は工学部と合併で機関誌は創刊号ですから力が入ります。

### ●10月26日（水）

会計監査をしてもらいました。監事の方の勤務先まで行くのですが、合併が近い小杉町役場の方はとても忙しそうでした。役場全体もなんだかバタバタしている感じがします。合併は大変ですねー。

### ●11月4日（金）

総会資料・主席者の名札の作成をしています。今年はたくさんの先生方（工学部・短大部）にも出席していただくので記章の数が足りなくなるかと心配しました。正会員の出席数も多いので名札は足りなくて買い足しました。うれしいですね。

### ●11月11日（金）

あさってが総会です。例年思うのですが、今が一番ドキドキする時です。資料は大丈夫かな、準備にぬかりはないかなと気になるだすと不安でいっぱいになります。

### ●11月13日（日）

朝からとてもよいお天気で、総会日和です。総会もたくさんの方々に出席していただきました。私は合同総会で発表の担当

だったのでちょっと緊張しました。講演会も中畠清氏の巧妙な話で笑いの中にとても大事なことも言っておられ、楽しくためになるお話をでした。

### ●11月29日（火）

会長に事務局まで来て頂き、総会の報告・支払いの報告をさせていただきました。ご都合で欠席でしたので当日の写真を見ながら、随分残念がっておられました。

### ●12月12日（月）

午後、池上さんが昭和40年の頃に発行されていた学生新聞を持ってこられました。かなりセピア色でとても大事に扱わないと破けてしまいそうです。少し読んだのですが、当時の学生気質が感じられ、とてもがんばっていたんだなあと感心しています。

## 《2006年》

### ●3月8日（水）

理事会を開きました。総会後（同窓会合併後）初めての理事会でたくさんの方に出席していただき、当初予定していた部屋では狭くなり急遽別の会議室を準備したりでちょっと大変でした。今年の総会に関する事も了承頂き、高岡・氷見ブロックの実行委員会もスムーズに行くことだと思います。

### ●2月16日（木）

今年の総会開催にあたって高岡・氷見ブロックの実行委員会を開きました。高岡市・氷見市在住の連絡員にも案内を出し2名の方に出席していただきました。案内葉書には大学同窓会名を明記しなくてわかりづらかったとのご指摘もあり、中にいると慣れてしまい世間では当たり前でないことが当たり前のような錯覚をおこしていることに気づかされました。

### ●3月24日（金）

晴天のなか学位授与式です。昨年までは短大部が卒業式、工学部が学位授与式だったのですが、短期大学士が頂ける様になつた今年からは学位授与式となるわけです。今年の卒業者名簿をいただくと空欄が目立ち驚いたのですが、個人情報保護法により各自に掲載を確認したところ拒否もあり空欄の多いものに仕上がっているとの事でした。同窓会としてはやりにくい時代となつたように思います。

### ●5月8日（月）

午後7時から編集会議を開きました。工学部から2名千瓢会からは私を含めて4名で会議をしました。創刊号ということもありなかなか活発な意見も出て、仕上がりが楽しみな企画です。

### ●5月26日（金）

機関誌の創刊に向けて広告依頼をするのにあたり、工学部の卒業者名簿で就職先などを調べてキャリアセンターで企業の住所を確認しています。初めてキャリアセンターへ入ったのですが県内外を含めて多数の企業の求人情報がありびっくりしました。

### ●6月1日（木）

今日は開学記念日です。富山県立大学は1990年に開学していますので、16年目になります。節目の年ではないので特別な行事もなく、学生は休みで学内は静かです。

### ●6月12日（月）

編集会議が開かれました。創刊号には編集委員のページもあり宿題も出ました。文章を書くのが得意でない私は何をどう書けばと思うと頭が痛いです。提出期限ぎりぎりにならないと書けないかなあ。

### ●6月20日（火）

草農業科一回生の今井さんが来られ、池上編集長の取材を受けました。一緒にお話を聞かせていただき、学生時代の懐かしい話の中で草創期の学生の苦労や意欲も感じられ楽しいひと時でした。

## 私たちが編集しました



**浅井 典子（あさい のりこ）**  
1995年工学部機械システム工学専攻卒業

若い頃は同窓会の大切さがわからなかったけど、この機会に編集をやらせていただいて「県大生の帰る場所」って大切な～と実感しました。今後も、皆さんと一緒に同窓会を盛り上げて行きたいです!! どうぞよろしくおねがいします。

未だ結婚できませ～ん。私に愛の手を!!



**池上 勤（いけがみ つよし）**  
1964年機械科卒業

私たちが編集しました「千瓢（せんぴょう）」創刊号をお届けします。ひとりでも多くの方に読んでもらおうと努力しています。お気づきの点がありましたら、編集委員にお伝えください。皆さんの意見を参考に親しまれる機関誌「千瓢」めざします。学生時代のユネスコクラブの活動を続けています。

富山で「青空古本市」を開いています。ちょっと覗いてみてください。



**今井 久志（いまい ひさし）**  
2004年工学研究科機械システム工学専攻卒業

編集委員全員、忙しい合間を縫って編集いたしましたので、ぜひご覧ください。予定では、ようやく卒業できる模様です。遅くなりましたが、来年度からは社会人の仲間入りであります。現在は、論文作成に追われる毎日です。同窓会誌の編集をしている暇はないのでは…という周りの声も聞こえますが、何事も一生懸命取り組む所存であります。どうか温かく見守ってください！



**川尻 香代子（かわじり かよこ）**  
1986年農業機械科卒業

気がつくと卒業からちょうど20年。2回目の成人式となりました。ご縁があって、編集委員の一人( ^\_ ^) ということで名を連ねております。久しぶりの大学にも足を運び、事務局の部屋で会議をし、自分としては当時とな一にも変わりはないですが、すれ違う学生さんから見ると「何だ、このオバハン?」とい



うことになるのでしょうか。恐ろしい話ですが現実です。編集委員の仕事・・・微力すぎて見えない位ですが、お手伝いさせていただきます。『千瓢』読んでね。『同窓会』来てね。

これまた気がつくと、『草刈り十字軍運動』の縁の下の力持ちとして10年余。NPO法人格まで取得し、見えないところで妙に暗躍中の2児の母。(NPO法人農業開発技術者協会・農道館：草刈り十字軍運動本部事務局主任)

**西部 文康（にしべ ふみやす）**  
1980年農業機械科卒業

1980年に農業機械科を卒業して同時に何故か役員名簿から消えることなく現在に至っています▼増えてゆくのは出会いの数と体脂肪▼減少するのは頭頂の凶?▼やってきたことは卒業年度や学科の違う方々を総会という共通の場所に来て頂く仕事▼編集の仕事は学際的なところもあって、社会と大学を繋いでいく一つの役割を担っています▼また同窓会員の今と過去を結び、心の故郷をかたちにする面もあります▼この時代にこの土地の大学があったからこそ起きた、違う者同士が真摯に出会う事の面白さ▼嗚呼楽しき富山県立大学同窓会。



**三宅 洋好（みやけ ひろよし）**  
2005年機械システム工学科卒業

どうも、ここにちは。初めて編集会議に参加させていただいています。まだまだ、わからないことだらけですが、少しでもみんなさんに楽しんで読んでもらえるように頑張っていきたいと思っています。学部を卒業しそのまま大学院に進学して学生やっています。来年からは社会人仲間入りです。



**山口 郁子（やまぐち いくこ）**  
1978年応用数学科卒業

短大部の機関誌「千瓢会だより」にも創刊からかわってきたのですが、同窓会が合併し創刊される「千瓢」に参加できることうれしく思います。微力ではありますが大学内外の情報集めにがんばります。健康診断でコレステロール値がちょっと高めと言われました。食生活にも注意して運動もしなくては・・・。



1962年（昭和37年）

答えは富山県立大学の前身、富山県立大谷技術短期大学が開学した年です。当時の県知事吉田実は大学の構想は出来たが資金のめどが立たずに困っていた。そこで郷土を愛する実業家大谷米太郎氏へ大学の構想を話していると、大谷さんは「自分は家が貧乏で、勉強できなかった。吉田君、その大学一体いく

らかかるかね」とたずねられた。事務当局から概算で4億円と聞いていたので、「約4億円くらいです」と応えると、大谷さんはしばらく考えて「県と自分で、半分ずつだからってつくろうじゃないか。いまの自分の手許に2億円はないが、弟の竹次郎とも相談してだしましょう」という事で2億円の寄付が決まった。いよいよ大学の建設にかかると、あれもしたい、これもしたいと4億円ではできなかった。吉田知事の在任中でも経常費を除いて建設費だけで8億円余かかった。吉田知事は回想する、あの時「8億円かかるでしょう」と申し上げたら「半分の4億円をだそう」とおしゃったかもしれない。今、大学で大谷講堂と呼ばれている講堂はこの大谷さんからきている。(参照・『富山県立大谷技術短期大学十年史』1971年(昭和46年)発行 144p「創るまでの裏話なし」吉田実)

平成 18 年度  
同窓会総会のお知らせ

● 日 時

平成 18 年 10 月 28 日 (土)

総 会：午後 2 時から  
記念講演会：午後 3 時から  
懇 親 会：講演会終了後（午後 4 時半頃）

● 会 場

ホテルニューオータニ高岡  
(高岡市新横町 1 / TEL. 0766-26-1111)

● 記念講演会

講師：聖川 淳 氏  
作曲家、射水市（新湊市）出身  
演題：「作曲家への道」

● 懇親会参加費

6,000 円  
(当日会場にて納入してください。)

尚、懇親会には酒類もご用意しております。飲酒運転となりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。準備の都合もありますので、出席される方は 10 月 10 日までに下記へご連絡ください。

● 連絡先

富山県立大学同窓会事務局 山口  
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180  
TEL 0766-56-7500 (内線 130)  
FAX 0766-56-0396  
メール senpyokai@pu-toyama.ac.jp

# 編 集 後 記

▼こんど、新しく千瓢会（富山県立大谷技術短期大学、富山県立技術短期大学、富山県立大学短期大学部の同窓会）と工学部同窓会が合併して富山県立大学同窓会が発足しました。今まで千瓢会が発行していた機関誌『千瓢会だより』と、工学部同窓会が発行していた機関誌『飛翔』が合併して、新しく富山県立大学同窓会機関誌『千瓢（せんぴょう）』が出来ました。

● 聖川淳氏プロフィール



- 本名 岩井 実
- 生年月日 昭和 19 年 2 月 11 日
- 出身地 富山県射水市（旧新湊市）
- 音楽歴 昭和 3 年 上京。  
「多田敏夫とスイングナイン」のアルトサックス奏者としてバンド活動開始。その後、ヴォーカルとアルトサックスのソロ活動開始。  
昭和 41 年 小畠実氏、伊藤雪彦氏にスカウトされビクターより「赤いエレキ」で歌手デビュー  
昭和 45 年 野路由紀子「私が生まれて育ったところ」で作曲家デビュー
- 代表作 昭和 46 年 野路由紀子「私が生まれて育ったところ」  
昭和 56 年 三笠優子「夫婦舟」122 週ロングセラー  
昭和 62 年 細川たかし「夢暦」第 18 回日本歌謡大賞 放送音楽特別連盟賞  
昭和 63 年 香西かおり「雨酒場」第 30 回日本レコード大賞新人賞  
平成 3 年 香西かおり「流恋草」第 33 回日本レコード大賞ゴールドディスク賞  
平成 14 年 成瀬昌平「はぐれコキリコ」第 44 回日本レコード大賞作曲賞

♪ みなさまの参加をおまちしております ♪

▼『千瓢会だより』14 号（平成 4 年創刊）と『飛翔』12 号（平成 5 年創刊）の歴史をふまえて新しい『千瓢』創刊号が船出します。『千瓢会だより』と『飛翔』の編集スタッフが協力して編集しました。

▼各地で同窓会が開かれるとと思いますが、その様子を編集部にお知らせください。紙面で紹介したいと思います。今号から「私の好きなもの」がスタートします。愛読をお願いします。

▼「はてな？ クイズ」のご応募をお待ちしています。簡単なクイズです。一緒に読後感想もお寄せください。（「この数字をご存知ですか」とクイズは連動しています）

▼創刊号はいつもどきどきします。皆さんのご意見をお待ちしています。

(池上 効)